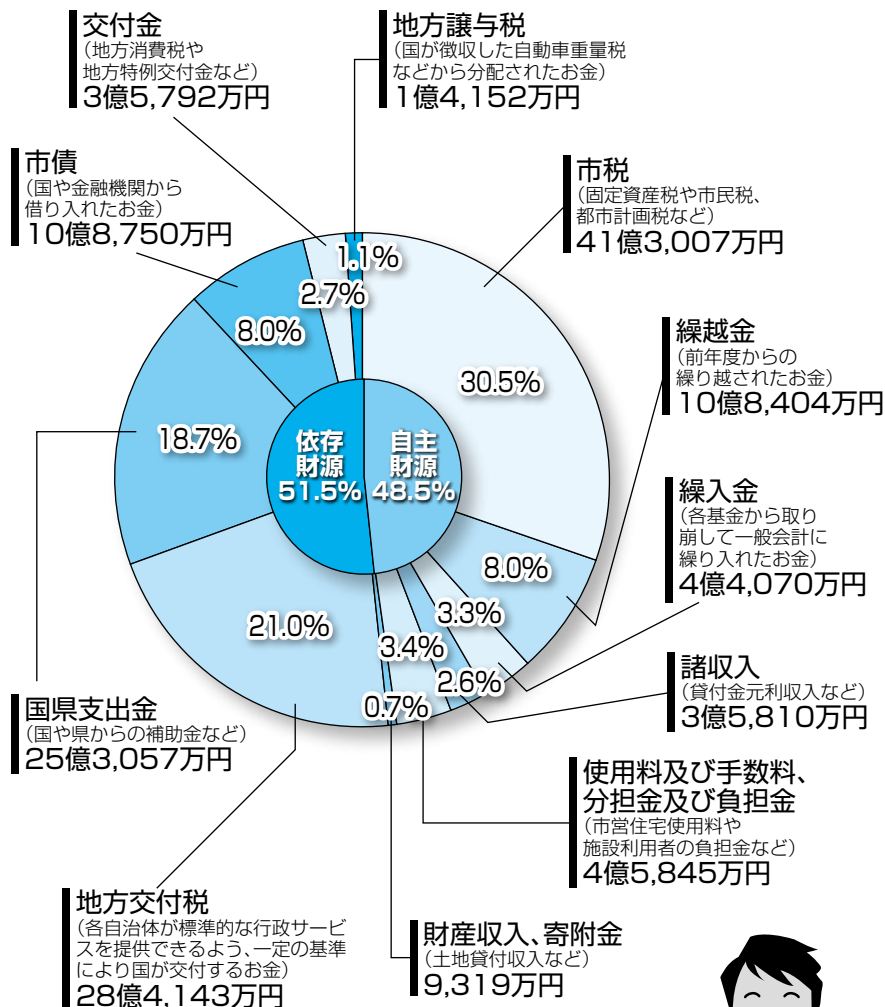


一般会計

歳入 135億2,349万円

歳入を構成比で見ると、市税などの自主財源は48.5%、国や県の補助金などの依存財源は51.5%となりました。



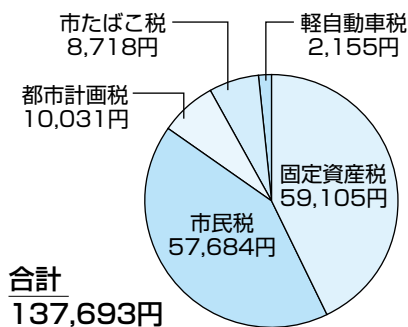
(金額については、表示してある金額の単位未満を四捨五入してあります。)

平成25年度 決算の状況

問合せ 財政課 ☎ 23 - 2113

平成25年度一般会計・特別会計及び企業会計の決算が、市議会9月定例会で認定されました。今月号では、皆さんから納めていただいた税金や国・県からの補助金などがいくらか入ってきて、そのお金などのように使われたのか、25年度の歳入・歳出の内容や総合計画の目標に沿って実施した個別事業の決算額、財政の健全化に関する指標となる健全化判断比率などについてお知らせします。

市民1人当たりが納めた市税



※市民1人当たりの金額は、平成25年4月1日現在の人口29,995人で算出しました。(次ページの市民1人当たりに使われた金額も同様)

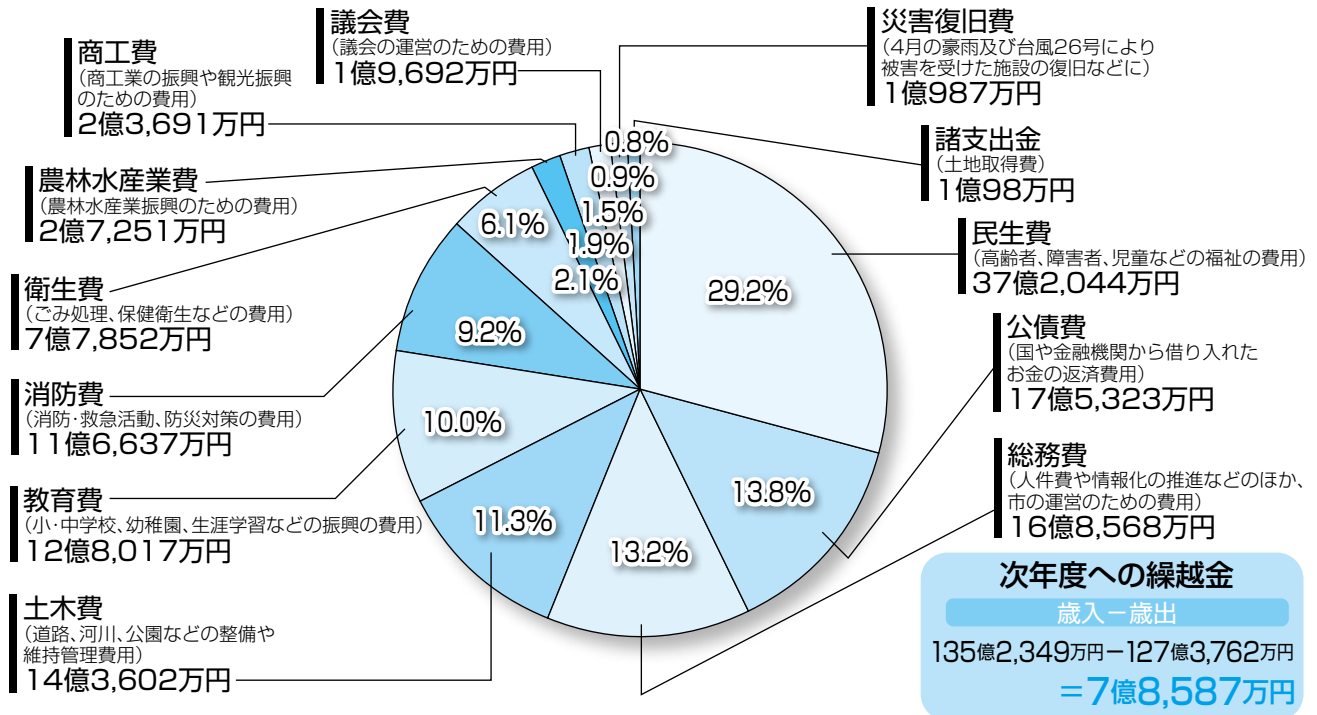


用語の説明
歳入 年度内に入ってきたお金。
歳出 年度内に使ったお金。
自主財源 市が独自に徴収することができるお金。市民税、固定資産税、使用料及び手数料など。
依存財源 国や県などから入ってくるお金。国庫支出金、県支出金、地方交付税、地方譲与税、自動車取得税交付金、市債など。
市債 市が大きな建設事業を行うために、国や金融機関などから長期にわたって借りるお金。
国県支出金 特定の事業の財源として、国や県から交付されるお金。

一般会計

歳出 127億3,762万円

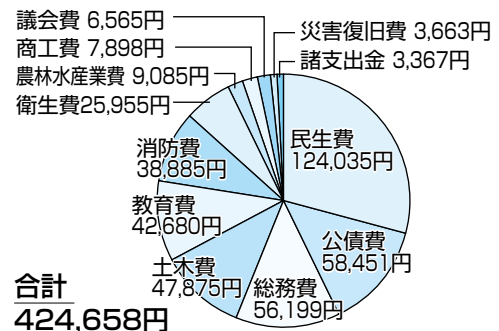
歳出のトップは高齢者、障害者、児童などの福祉に用いる民生費で全体の29.2%を占めました。次いで公債費の13.8%、総務費の13.2%と続いています。



特別会計等の決算額

会計名		歳入 (収入)	歳出 (支出)
特別会計	国民健康保険	33億8,028万円	33億7,946万円
	後期高齢者医療	2億8,717万円	2億8,568万円
	介護保険 (保険事業)	25億1,699万円	24億5,801万円
	介護保険 (介護サービス)	668万円	637万円
	霊園事業 (秋山菖蒲霊園)	349万円	349万円
	霊園事業 (高萩霊園)	1,512万円	1,427万円
公営企業会計	水道事業	収益的	7億663万円 / 5億4,738万円
		資本的	7,864万円 / 4億5,254万円
	工業用水道事業	収益的	1億9,196万円 / 1億4,235万円
		資本的	0 / 6,685万円

市民1人当たりに使われたお金



国や県からの補助金などを活用して、市民1人当たりの市税収入 (137,693円) の3.1倍の行政サービス (支出) を提供しました。

健全化判断比率と資金不足比率 ~全会計において適正運営状況を維持~

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律 (財政健全化法)」により、地方公共団体は、毎年度、実質的な赤字や、外郭団体を含めた実質的な将来負担などを表す指標 (健全化判断比率) と、公営企業ごとの資金不足額を表す指標 (資金不足比率) を議会に報告し、公表しています。

市の数値は、いずれも地方公共団体の財政の健全性を示す早期健全化基準以下であり、適正な財政運営といえます。今後も、健全な財政を維持しながら、より効果的かつ効率的な財政運営に努めていきます。

健全化判断比率 (地方公共団体の財政の健全化に関する指標)

指標	25年度算定結果	財政健全化法早期健全化基準
実質赤字比率	一般会計等の赤字の割合	赤字がないので該当なし
連結実質赤字比率	一般会計や公営企業会計を合わせた市全体の赤字額	13.92%
実質公債費比率	市税等の年間収入のうち市全体の借金返済額が占める割合	17.2%
将来負担比率	市全体の借金等が市税等の年間収入の何年分にあたるかを表す指標 (100%) が1年分にあたります	25.0%
		120.4%
		350.0%

資金不足比率 (地方公営企業の経営の健全化に関する指標)

会計名	25年度算定結果	早期健全化基準
水道事業会計	赤字がないので該当なし	20.0%
工業用水道事業会計	赤字がないので該当なし	20.0%

こんな事業に取り組みました — 平成 25 年度主要事業 —

「支えあい、健やかな暮らしができるまち」づくり

○妊婦・乳児健康診査等経費	2,033 万円
○放射線健康検査経費	1,616 万円
○市営住宅整備事業	3,576 万円
○災害公営住宅整備事業	1 億 8,779 万円

「安心して安全に暮らせる環境と調和したまち」づくり

○再生可能エネルギー導入促進事業	3,512 万円
○ごみ収集・処理経費	3 億 6,354 万円
○防災行政無線整備事業	5,738 万円
○小・中学校体育館トイレ整備事業	431 万円

「豊かな心を育み、萩っ子がいきいきと育つまち」づくり

○高萩スカウトフィールド支援経費	450 万円
○小・中学校生徒指導支援事業	1,357 万円
○松小・秋小校舍改築事業	4,226 万円
○学校施設耐震補強・改修事業	1 億 6,989 万円
○津波避難拠点施設(高萩中学校)整備事業	243 万円

「暮らしやすい快適なまち」づくり

○バス路線運行維持費補助金	1,247 万円
○橋梁長寿命化推進経費	772 万円
○交通安全施設整備事業	2,805 万円

「地域の活力があふれるまち」づくり

○穂積家住宅活用経費	100 万円
○水田農業対策経費	1,331 万円
○農道整備事業	605 万円

「ともに力をあわせてつくる自立したまち」づくり

○大学協定事業経費(地域連携分)	482 万円
○コミュニティFM放送局支援経費	653 万円

東日本大震災復旧・復興関係

○東日本大震災災害廃棄物対策経費	2 億 3,182 万円
○放射線相談窓口経費	2,462 万円
○津波避難シミュレーション等計画策定経費	2,129 万円
○防災行政無線(移動系)整備事業	9,393 万円

高萩市の財政状況を家計簿に例えてみました

— 性質別歳出内訳 —

平成 25 年度の一般会計歳入決算額(135 億 2,349 万円)を年収 537 万円^{*}として、これを基準に各科目を一般家庭の項目に置き換えたものです。市の決算には様々な種類の歳入や歳出があり、一般的な家計簿とは内容が異なります。例えば「人件費」は、経常的な必要経費として「食費」に置き換えました。目安としてご覧ください。

収入 537 万円 (135 億 2,349 万円)

市の財政	家計簿	割合
市税	給料 164 万円	30.5%
負担金や使用料など	副収入 36 万円	6.7%
国や県から交付されるお金	父母からの援助 233 万円	43.5%
繰入金(特別会計や基金から受け入れるお金)	貯金の取崩し 18 万円	3.3%
市債(市が長期間借り入れるお金)	銀行などからの借入 43 万円	8.0%
繰越金	前年度の黒字額 43 万円	8.0%
合計	537 万円	100%

^{*}「厚生労働省 平成 25 年国民生活基礎調査」の 1 世帯当たりの平均所得額を参考にしました。

次年度への繰越金【収入—支出】 31 万円 (7 億 8,587 万円)

収入は給料と副収入を合わせて 200 万円です。支出は食費・生活費や借金の返済で 265 万円、自宅の増改築などに 66 万円、その他医療介護費などを合わせて合計 506 万円かかりました。給料(市税)などではまかないきれずに、父母(国や県)からの援助や銀行からの借入れも行い、家計をなりたてている状況です。

支出 506 万円 (127 億 3,762 万円)

市の財政	家計簿	割合
人件費	食費 103 万円	20.3%
物件費、補助費等(旅費、消耗品費、燃料費、委託料、補助金などにかかるお金)	光熱水費、日用品購入などの生活費 92 万円	18.1%
扶助費(高齢者や障がい者、子どもの福祉などにかかるお金)	医療介護費 81 万円	16.1%
普通建設事業費、維持補修費(道路や学校など施設の新増設や補修にかかるお金)	自宅の増改築、補修費 66 万円	13.1%
繰出金(一般会計から他会計へ支出するお金)	子どもへの仕送り 73 万円	14.5%
公債費(市債の元金及び利子の支払いにかかるお金)	借金の返済 70 万円	13.8%
積立金など(基金に積み立てるお金)	貯金 21 万円	4.1%
合計	506 万円	100%